

Nitto

Innovation for Customers

第158期 第2四半期のご報告

2022年4月1日～2022年9月30日



Nitto

日東電工株式会社 滋賀事業所
Nitto Denko Corporation



代表取締役 取締役社長
CEO COO

高崎 秀雄

トップメッセージの太文字部分をクリックまたはタップいただくと、詳細ページをご覧いただけます。

2022年度上半期を終えて

2022年度上半期における経済環境は、世界的な物価上昇を背景に日本を除く国々や地域で金融政策を緩和から引締めに変換したことにより、対ドルを中心に想定以上の円安が進行しました。また、中国でのゼロコロナ政策による経済活動の停滞やロシアによるウクライナへの軍事侵攻の長期化などにより、経済の見通しの不透明感は益々高まっています。

このような中、当社グループの主要な市場においては、ハイエンドのスマートフォンやノートパソコン向けの当社製品の需要が伸長しました。また、自動車材料は半導体不足等の影響が緩和し需要が回復しました。核酸医薬市場では、COVID-19ワクチン向け核酸アジュバント（核酸免疫補強剤）の需要が増加しました。

以上の結果、2022年度上半期の業績は、売上収益は前年同期比13.8%増の4,849億円、営業利益は26.7%増の923億円となりました。なお、通期業績は、売上収益9,550億円、営業利益1,600億円を見込んでおり、過去最高の売上収益と営業利益となる見通しです。

ESGを経営の中心に置く

Nittoグループは、今後「お客様」の概念を、直接の「顧客」だけではなく、さらにその先にある「地球環境」や「人類・社会」にまで広げていきます。技術や品質だけでなく地球環境や人類に貢献する製品であることをすべての製品の前提としていきます。それを従業員一人ひとりが自分事として日々実践するための仕組みとして、環境・人類に貢献する製品「**環境貢献製品: PlanetFlags™**」「**人類貢献製品: HumanFlags™**」の認定スキームを新たに制定しました。

また、新たに「**Nittoグループカーボンニュートラル 2050**」を宣言しました。CO₂排出量を、2050年度までに実質ゼロを目指すこと、2030年度までに47万トンとすること、事業プロセスだけでなく製品やソリューションを通じてお客様のCO₂排出量削減に貢献することを表明するものです。その実現のために2030年度までに約600億円の投資を計画しています。実質ゼロに至るロードマップを全事業執行体がコミットしていることが、Nitto流のカーボンニュートラル宣言の特徴です。さらに、**気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)**に賛同表明し、気候変動に関するリスクと機会や財務的な影響、その対応状況を開示しました。

地球環境と人類、そして社会に貢献できる事業活動を通して、社会課題の解決と経済価値の創造の両立を実現する。すなわち、ESGを中心に置いた経営を推進することこそが責務であると今、思いを新たにしています。

利益還元について

Nittoグループは、株主の皆様に対して安定的に利益の還元を行うことを基本にしています。一方、急速な技術革新への対応と顧客ニーズにタイムリーに応えるために、内部留保を使って研究・開発および生産に関わる積極的な先行投資を行っていくことも必要不可欠です。株主の皆様に対する配当金につきましては、将来の投資機会、財務状況、資本効率、利益水準、および配当性向等を総合的に勘案して実施することとしています。また、内部留保についても定期的に水準を確認し、総合的に勘案して用途を定めていきます。2022年度の年間配当金は、1株につき年間240円を予定しております。なお、中間配当金は120円とさせていただきます。

TOPICS 1 Mondi社のパーソナルケア事業を買収

Mondi plcのパーソナルケア事業※1は、Nittoのパーソナルケア材料事業の成長の必須要素であるコア材料製造技術、グローバルトップ顧客とのリレーション、グローバル供給体制、及び環境対応製品を備えています。本買収は、健やかで快適な暮らしを支えるヒューマンライフへの取り組みを強化するものです。

この度獲得した欧州最大の工業国であるドイツでの拠点と欧州エリアに精通する人財による新たな事業基盤を土台に、Nittoの差別化戦略であるニッチトップ戦略を実行するとともに、販路獲得による顧客基盤の拡大とバリューチェーンの拡張により、中東・アフリカなどの新興国市場中心に事業を行ってきた当社のパーソナルケア事業の競争力をグローバル規模で強化します。

※1 パーソナルケア事業について
紙おむつ、生理用品、ウェットワイプ、マスクの材料である伸縮部材や不織布および機能性フィルムなどの衛生材料の製造、販売。

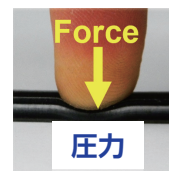
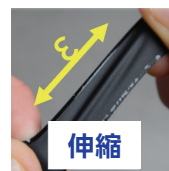
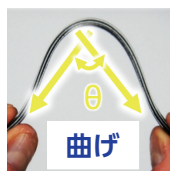


TOPICS 2 Bend Labs社を買収

Nittoでは、次世代モビリティ、情報インターフェース、ヒューマンライフを重点3分野とし、戦略的な経営資源を投入することで、新たな製品・サービスの創出に取り組んでいます。この度のBend Labs, Inc. 以下「Bend社」買収は、同重点3分野におけるイノベーションの加速を実現するものです。

Bend社が開発したフレキシブルセンサは、「曲げ」「伸縮」「圧力」を同時測定でき、優れた柔軟性と耐久性に加え、高い精度を特長としています。自動化が加速する自動車分野や、健康状態のモニタリングニーズが高まる医療分野をはじめ、

様々な分野での活用が期待されています。Nittoの持つグローバルな事業基盤、粘着技術や回路基板設計技術をはじめとする基幹技術などと連携、融合することで、新規事業の創出を狙います。



省エネルギーで効率よく水資源を循環できる
ZLD (排水ゼロ化) 用途 RO膜



社会へのインパクト

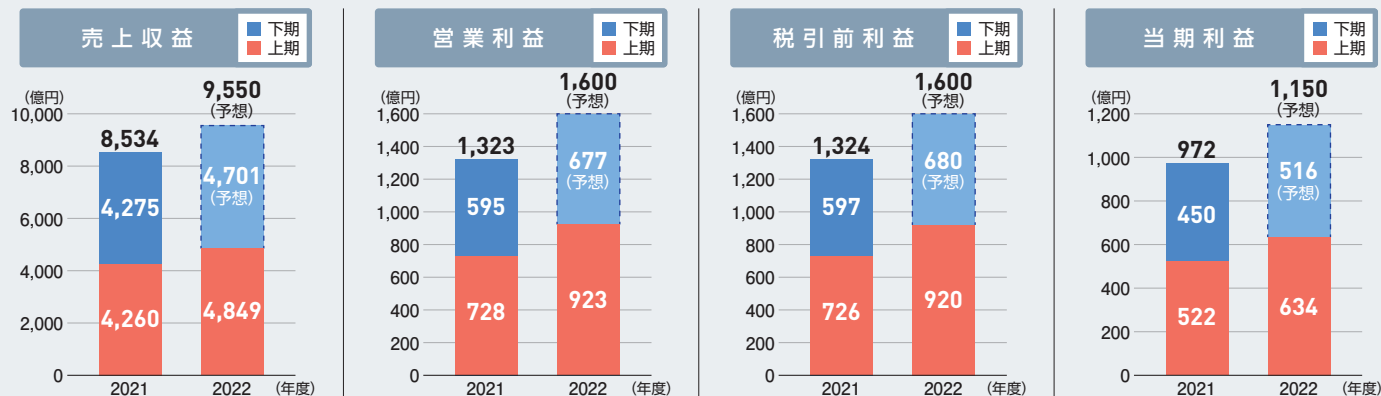
CO₂排出量 **-63%**
(排水処理にかかる電力を蒸発法と比較した場合の社内算出値)

排水再生量 **16.9Mトン/年** 23万人の生活用水に相当
(一人当たりの生活用水消費0.2トン/日と、対象製品の販売量から類推)

近年は世界レベルで工場からの排水量が増加したことによる環境汚染や渇水が問題となっており、一部の国や地域では排水制限や法規制を厳格化しています。その対策として、RO膜を使用して、排水を系外に排出せず全回収する排水処理システム「ZLD (Zero Liquid Discharge)」が期待されています。こちらのRO膜は、「環境貢献製品:PlanetFlags™」に認定しています。

業績ハイライト

※2014年度より国際会計基準 IFRSを適用しています。
※数値は、表示単位未満を四捨五入して表示しています。



海外売上収益比率 ※1

82.3%

海外売上収益 3,989億円
国内売上収益 860億円

※1 2022年度上半期連結売上収益に
占める海外での売上収益の割合

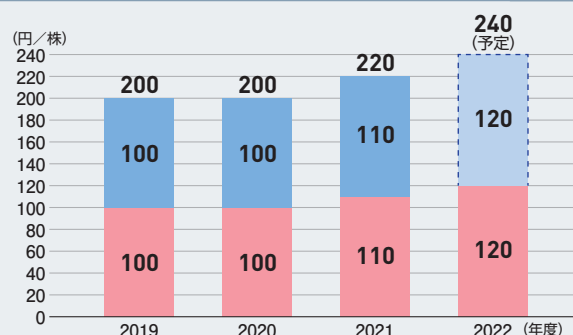
自己資本比率 ※2

75.8%

自己資本 9,111億円
総資産 12,013億円

※2 2022年度上半期(9月末時点)の
総資産に占める自己資本の割合

1株あたり配当金



ポイント

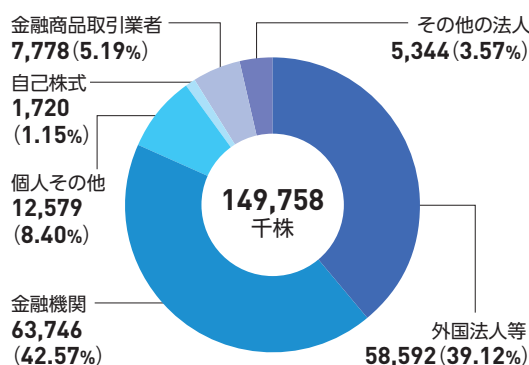
- 1 ハイエンドのスマートフォンやノートパソコン向けの当社製品の需要が伸長
- 2 核酸医薬市場では、COVID-19ワクチン向け核酸アジュバント(核酸免疫補強剤)の需要が増加
- 3 2年連続で最高益を更新し、中期経営計画「Nitro Beyond 2023」最終年度の業績目標を「1年前倒し」で達成見込み

株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行済株式の総数 149,758千株
株主数 28,993名

所有者別分布状況

(単位: 千株)



表紙写真: 滋賀事業所

株主メモ

証券コード 6988(業種:化学)
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当受領株主確定日 3月31日(期末配当)、9月30日(中間配当)
定時株主総会 6月
単元株式数 100株
上場金融商品取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話:0120-094-777(通話料無料)

※株式に関するお手続きについては、当社ホームページをご覧ください。
<https://www.nitto.com/jp/ja/ir/stock/procedure/>

Nitto公式SNSでも情報を発信しております。



上記のURLや二次元コードをクリックまたはタップいただくと、詳細ページをご覧いただけます。